<登校許可の目安>

1. 発熱やかぜ症状のある者

- ◆**症状が出た日をゼロ日と数え、7 日間経過するまでは登校禁止（かつ、6 日目が終了した時点から 24 時間、薬※を飲まないで発熱などの症状※※がない場合）と 7 日間の健康観察**

※解熱剤を含む症状を緩和させる薬剤を服用していない

解熱剤を含む症状を緩和させる薬剤、解熱剤には、**総合感冒薬**だけではなく**頭痛薬**や**生理痛の痛み止め**（イブ、ロキソニン、パブリン、カロナール、他）なども解熱効果のある成分が含まれるので対象となる。

※※症状とは、普段より高い熱（目安は 37℃以上）・咳・呼吸苦などの症状

- ◆受診先主治医の意見や受診しての PCR 検査結果が陰性の場合、症状消失後 48 時間以降、登校可に短縮される場合がある。
- ◆受診して、診断名が明らかに新型コロナに無関係な場合（例：膀胱炎、扁桃炎等）は、登校して良いか主治医の意見に従い、保健室に報告し、登校許可について確認する。

2. 新型コロナウイルス感染者

- ◆**症状が出た日をゼロ日と数え、7 日間経過するまでは登校禁止（かつ、6 日目が終了した時点から 24 時間、薬を飲まないで発熱などの症状※がない場合）と 10 日間の健康観察**

※症状とは、普段より高い熱（目安は 37℃以上）・咳・呼吸苦などの症状

(重要) 8 日目でも、ウイルスは検出されていることがあり、感染させるリスクがあることを認識して行動すること。

・**症状について悩む時は、居住区の保健所か医療機関に相談する。**

または、感染対策を優先し、10 日間の自宅待機に延長する（教務部に連絡した上、自宅受講届出を延長してもらう）。

・**授業担当の先生にもメールで連絡する。**

- ◆復帰後 10 日目までは、毎日の健康観察を続け、高齢者等、重症化リスクのある人との接触はしない。
食事は・個食(1 人で食事)・マスクの着用、他人との距離を可能な限り 2m 程度に保つなどの感染予防対策を徹底し、体調不良を認める際には登校はしないこと。
- ◆課外活動（ダンス等のスポーツ系、飲食を伴う活動）、オープンキャンパスの参加等の活動は、10 日間が経過するまでは参加禁止。
- ◆後期定期試験に影響がある場合は、PCR 検査や抗原検査をして、結果がメールで送られてきた場合は、スクリーンショットで、用紙の場合はカメラで用紙を撮って、結果をメールに添付して、教務部に送る。

3. 濃厚接触者

- ◆「患者（確定例）」の感染可能期間の**最終接触日をゼロ日と数え 5 日間の登校禁止と 7 日間の健康観察**

4. 同居するご家族等に発熱やかぜ症状がある場合

ご家族が診断を受け治癒するまで、また、新型コロナの検査を実施した場合は結果が出るまで、登校せず自宅受講等に切り替える。